

★★10時からの開催です！

第41回 許すな！靖国国営化 8.15東京集会

日時:2014年8月15日(金)午前10時～12時(開場9:30)

日本軍『慰安婦』制度が 問うていること

日本各地で巻き起こっている「ヘイトスピーチ(憎悪むき出しの民族差別発言)」において、日本軍による「慰安婦」制度の問題を、「慰安婦」とされた女性個人への攻撃にすり替え、問題を直視しない論調が目立ちます。このような態度は安倍政権の採る「平和外交よりも近隣との摩擦をあまり武力衝突も辞さない政策」と重なり合います。

思い起こせば安倍首相はかつてNHKに不当介入し、日本軍「慰安婦」制度を裁いた女性国際戦犯法廷についての実録番組の、戦争責任に関する根幹部分を捻じ曲げさせた張本人でした。そして今般自らの「お友だち」である歴史修正主義者を、内閣の要職やNHK会長、同経営委員に就けました。今まで以上に「大本営発表」が強化されることが懸念されます。

■講師：渡辺 美奈 さん

女性の人権や戦時性暴力問題に取り組むNGOでのスタッフ・運営委員を経て、現在はアクティブ・ミュージアム「わたしの戦争と平和資料館」(wam)事務局長。日本軍「慰安婦」問題の解決に向けて、国連の人権機関等に対しても情報提供を続けている。全国ネットワークの「日本軍『慰安婦』問題解決全国行動」共同代表。共著に『「村山・河野談話」見直しの錯誤—歴史認識と「慰安婦」問題をめぐって』(2013年、かもがわ出版)。

集会賛同金にご協力をお願いします。

個人 一口1,000円/団体 一口3,000円

カンパ振込先(郵便振替)

00160-4-86377 8.15東京集会実行委員会

平和祈禱会：午前7時
於) 千鳥が淵戦没者墓苑

日本軍による「慰安婦」制度に向き合うことは重要な意味を持ちます。「慰安婦」とされた被害者女性の告発が、日本の植民地支配や軍隊の加害者性について問うことがなかった戦後のありようを考え直すきっかけとなったからです。だからこそ、温存され続けている女性差別を基に、政権も世間も被害者女性や支援者たちへの攻撃を強めているのです。暴走を続けてもなお安倍政権が高支持率を保っていることは決して偶然ではありません。

講師の渡辺美奈さんは女性の人権や戦時性暴力問題に長年取り組んでこられた方です。大切なこの課題を共に考えるために集まりましょう。

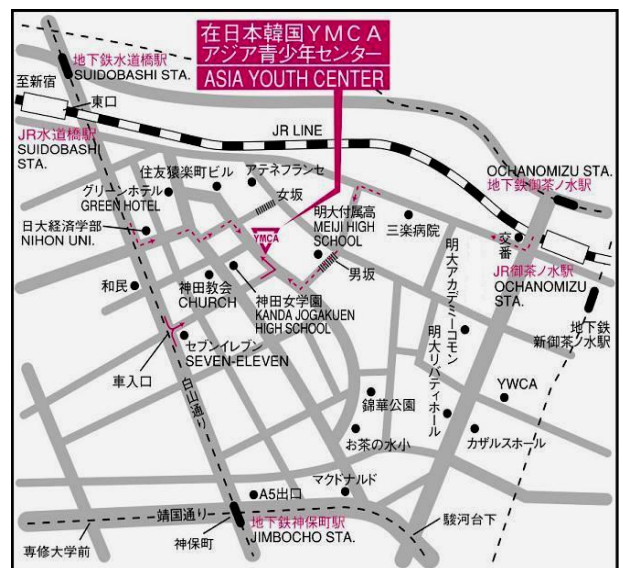
★会場費:800円(高校生以下無料)

★場所:在日本韓国YMCA

アジア青少年センタースペースワイホール(地下)

JR水道橋駅徒歩6分、御茶ノ水駅徒歩9分、

地下鉄神保町駅徒歩7分



主催:8.15東京集会実行委員会

後援:日本キリスト教協議会(NCC)靖国神社問題委員会・東京地方バプテスト教会連合社会委員会